

**新型コロナウイルス対応緊急支援助成  
事業計画（実行団体）**

事業名(主)	アンダーコロナに対応するICT整備事業
事業名(副) <small>※任意</small>	

入力数 主 19字 副 0字

実行団体名	特定非営利活動法人 沖縄青少年自立援助センターちゅらゆい
資金分配団体名	公益財団法人 みらいファンド沖縄

**優先的に解決すべき社会の諸課題**

領域		分野	
<input checked="" type="checkbox"/>	1) 子ども及び若者の支援に係る活動	<input checked="" type="checkbox"/>	①経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子供の支援
		<input checked="" type="checkbox"/>	②日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援
		<input checked="" type="checkbox"/>	③社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援
<input checked="" type="checkbox"/>	2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動	<input checked="" type="checkbox"/>	④働くことが困難な人への支援
		<input checked="" type="checkbox"/>	⑤社会的孤立や差別の解消に向けた支援
<input type="checkbox"/>	3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動	<input type="checkbox"/>	⑥地域の働く場づくりの支援
		<input type="checkbox"/>	⑦安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援

上記以外 その他の解決すべき社会の課題	<input type="checkbox"/>	
------------------------	--------------------------	--

入力数 0字

**SDGsとの関連**

ゴール
_1.貧困をなくそう
_4.質の高い教育をみんなに
_8.働きがいも経済成長も
_10.人や国の不平等をなくそう
_16.平和と公正をすべての人に

実施時期	2020年11月 ～ 2021年4月	事業対象地域	全国 □ □ 特定地域 (沖縄県)	事業対象者： (事業で直接介入する対象者と、その他最終受益者を含む)	法人職員、不登校、引きこもり、障害のある子ども・若者	事業対象者人数	40人 (法人職員20人、利用者20人)
------	--------------------	--------	----------------------------	---------------------------------------	----------------------------	---------	-------------------------

## I. 団体の社会的役割

<b>(1) 団体の目的</b>
この法人は、不登校や引きこもり、障害等を持っているため、一般的な就職による社会的自立が困難になっている当事者に対して、その状態から脱却する機会を提供しつつ、社会的自立を援助する活動、親の会、地域活動支援センター等の事業を行う。又地域生活のための相談及び支援、助言や情報交換・地域交流の場の提供、活動支援並びに支援のための情報提供や啓発活動に関する事業を行い、すべての人が安心して楽しく暮らせるまちづくりと地域福祉の増進に寄与することを目的とする。(定款より)
<b>(2) 団体の概要・事業内容等</b>
「子ども・若者の社会孤立ゼロ」を目指し、不登校や引きこもり状態、障害のある子ども・若者に対し、生活や学習、就労等の支援を行う。2020年1月現在の主な事業は、子どもの貧困対策事業(不登校の中高生の居場所、小学生の放課後居場所)、不登校支援事業、就労継続B型、就労移行事業。その他、勉強会や講演会等のイベント、親の会、面談・アウトリーチなど。

入力数 (1) 229 字 (2) 170 字

## II. 事業の背景・社会課題

<b>新型コロナウイルス感染症により深刻化した社会課題</b>
当法人では、不登校、引きこもり、障害のある子ども・若者を対象とし、主に対面での来所型及びアウトリーチ支援を行っている。 しかし、様々な自粛が求められるコロナ禍においては、緊急事態宣言下で事業所の開所ができなかったり、開所できた場合でも制限付きの利用を強いることとなり、さらにアウトリーチに関してはほぼ実施できない状況に陥った。 その結果、外とつながる手段を失った子ども・若者たちの孤立状態が加速。特に生活困窮世帯においては、虐待やDV、食事がとれない子どもの報告があがるなど、深刻な状況が明るみになった。 今後、これまで通りの来所型・訪問型支援だけでは不十分であることが見えてきたため、オンラインでの居場所開設や情報提供、個別面談など、新たな支援を行う必要があると考える。  また、職員の勤務状況・形態にも影響が発生している。 子育て中の職員は、保育園や学校が休校になったため、在宅勤務や育休の延長をするなどして対応せざるを得なくなったが、在宅勤務の環境整備がなされていないため、業務をスムーズに進めることも難しい状況であった。 さらに、対面での会議や情報共有が行えない状況下では、オンラインでの実施、情報の共有・管理を行う必要があるが、個人情報も多く含むこれらを取扱う際には、高いセキュリティ環境が必要である。  以上の新たな課題を踏まえ、オンラインでの情報管理の強化、ICT化をすすめることにより、コロナ禍であっても職員が働ける環境を整え、利用者に対して適切な支援が継続して行えるよう取り組む必要がある。

入力数 663 字

### III.事業内容

<b>(1)事業の概要</b>
<p>どんな状況下であっても、当事者のニーズに即した支援を継続できる仕組みと環境を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セキュリティ強化、情報共有、業務の効率化をはかるためのシステムの導入</li> <li>・テレワークに対応できる環境整備</li> <li>・当事者及び職員が、ウェビナーや動画配信等で広報啓発するための環境整備</li> </ul>

入力数 132 字

<b>(2)事業実施後（1年後）以降に目標とする状態</b>
<p>コロナ禍に限らず、職員が自分に合った働き方を選びながら、就業できている状態。          高いセキュリティ環境のもと、職員間での情報共有やコミュニケーションが快適になされている状態          当事者に対する支援方法の選択肢が増えている状態（来所型、訪問型、オンライン型等）</p>

入力数 126 字

(3)今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）	実施・到達状況の目安とする指標	把握方法		目標達成時期
1. グループウェアで使用するアプリケーションの開発と導入	導入実績数 職員利用数	導入済みの事業所数のカウント 利用している職員数のカウント	5か所（4事業所+総務部） 20名（全員）	2020.12
2. 職員向け講習と利用サポート	利用講習会とサポート回数	利用講習会の回数のカウント	3回	2021.3
3. 子ども向け動画作成と配信の研修会と利用サポート	講習会実施回数 参加者数	講習会実施回数のカウント 参加した子どもの数のカウント	10回 20名（4事業所×5名）	2021.4
4. オンライン会議、研修、動画配信等の実施	実施実績数	実施回数のカウント	4回（4事業所×1回）	2021.4

(4)活動	時期
アウトプット1-1. 各事業所・部署のニーズに即したアプリを開発するためのヒアリング（4事業所+総務部）	2020年11月～2020年12月
1-2. アプリケーションのプロトタイプ作成	2020年11月～2020年12月
アウトプット2-1. 各事業所・部署へのアプリケーションのプレ導入とフィードバック（4事業所+総務部）	2020年12月～2021年1月
2-2. 運用実態に即したシステムの改修とアフターフォロー	2020年1月～2021年3月
アウトプット3-1. ニーズ調査・動機付けのための、導入ワークショップ 3事業所（中高生以上対象）×1回 計3回	2020年11月～2021年1月
3-2. 動画配信や個別面談の講習会の実施 3事業所（中高生以上対象）×2回、1事業所（小学校低学年対象）×1回 計7回	2020年12月～2021年2月
3-3. 通常の居場所業務内で、職員から希望者への利用サポート	2021年2月～2021年4月
アウトプット4-1. 機材の整備	2020年11月～2020年12月
4-2. 配信内容の決定（職員：各事業所およびリーダー会 子ども：アウトプット3-2と連動させ、講習会の中で決定）	2020年12月～2021年1月
4-3. 配信の実施	2020年1月～2021年4月

### IV.事業実施体制

<b>(1)メンバー構成と各メンバーの役割</b>	<p>事業統括：照査          主担当：グループウェアの導入、進捗管理          副担当：オンラインでの研修実施に向けた機材の整備</p>
<b>(2)他団体との連携体制</b>	<p>サイボウズ株式会社：ライセンス発行、システム導入支援          スペースグループ株式会社：アプリケーションの開発、各事業所への導入支援          一般社団法人daimon：子ども向けワークショップ・講習会ファシリテーション          テラスウェブシステム：子ども向けワークショップ・講習会ファシリテーション、ソフトウェアサポート</p>
<b>(3)想定されるリスクと管理体制</b>	<p>導入するシステムにおいての知識不足が考えられるため、外部の専門職に整備を依頼</p>